授業科目名	教育心理学	担当教員名	池田 慎之介
必修/選択	必修 (幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分 等	教育の基礎理解に関する科目-幼児の心身の発達及び学習の過程 保育の対象の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※「子ども家庭支援の心理学」の指導内容を含む

授業の到達目標	1-幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ⑴幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程：幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。 ①幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 ②乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。 ⑵幼児、児童及び生徒の学習の過程：幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。 ①様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ②主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ③幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。 2-子ども家庭支援の心理学 ⑴生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の 重要性、発達課題等について理解する。 ⑵家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族 関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を 包括的に捉える視点を習得する。 ⑶子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 ⑷子どもの精神保健とその課題について理解する。
授業の概要	教育心理学とは，「保育・教育現場に役立つための心理学的な知見とアプローチ」について考えるための学問である。それは，保育士・教員として現場に立った時に役立つ実践的な理論であるとともに，いつかどこかで子どもと関わり育む状況になった時にも活用可能なものであってほしいと考える。 教育心理学が取り扱う主な内容は，発達・学習・人格・適応・評価である。教育に関する様々な心理学的知見を身に着けることで，子どもの学習について，様々な角度から考えられるようになることを望む。またこの講義では，協同学習の理念と手法に基づいた問題解決型の学習展開を目指している。たとえば，「いじめのない学級」を作るためには，どのような指導ができそうなのか，話し合い活動（LTD：Learning Through Discusson)を通して，具体的な解決方法を探究する。
テキスト	授業内で適宜指示する。
参考書・参考資料等	授業内で適宜指示する。
成績評価の方法	・到達目標準拠評価 ・授業参加姿勢：30%（コメントシート，ディスカッションへの参加等を含む） ・期末到達度確認テスト：70%

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第1回	本授業の目的と方法―教職課程における本授業の位置付け	⑴-①
第2回	発達の諸理論について	⑴-①,⑵-①
第3回	発達段階について	⑴-①②
第4回	言語発達	⑴-②
第5回	認知発達	⑴-②
第6回	社会性の発達	⑴-②
第7回	運動発達	⑴-②
第8回	学習について	⑵-①,⑵-②
第9回	学習の諸理論について	⑵-①,⑵-②
第10回	記憶と認知過程	⑵-②
第11回	動機づけ	⑵-②
第12回	学習指導	⑵-②,⑵-③
第13回	学習評価	⑵-②,⑵-③
第14回	集団づくり	⑵-②,⑵-③

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第15回	授業のまとめと定期試験に向けた学習の指示	⑴-①,⑵-①
定期試験	筆記試験	